九州地方

名前

問1　農産物の生産統計において、サトウキビの生産量や、マンゴー、菊（電照菊）の出荷量が全国トップクラスである都道府県はどこか、名称を答えなさい。（2014年 沖縄県公立入試 類似）

1. 宮崎県　2. 鹿児島県　3. 沖縄県　4. 高知県

問2　九州地方南部のシラス台地において、古くから水田稲作ではなく、サツマイモなどの畑作や畜産業が盛んに行われてきた理由として、土壌の性質から説明したものとして適切なものはどれですか。（2020年 静岡県公立入試 類似）

1. 土壌に塩分が多く含まれており、稲の成長を阻害する性質を持っていたため。
2. 標高が高く気温が低いため、熱帯性の作物である稲の栽培が困難だったため。
3. 火山噴出物でできた地層は水はけが非常に良く、水田に必要な水を貯めておくことが難しかったため。
4. 地盤が非常に軟弱であり、重い農機具を利用した大規模な耕作に適さなかったため。

問3　宮崎県などで盛んな、ビニールハウスなどの施設を用いて作物の成長を早める「促成栽培」において、冬から春にかけての時期に出荷を集中させる主な理由として最も適切なものはどれですか。（2020年 静岡県公立入試 類似）

1. 春先の害虫被害を避けるために、収穫時期をあえて市場の需要が低い時期にずらすため
2. 冬の寒さを利用して作物の品質を向上させ、他の農産物との差別化を図るため
3. 他地域からの入荷量が多く市場価格が安定している時期に供給し、販売量を増やすため
4. 他地域からの入荷量が少なく市場価格が高い時期に供給し、農家の利益を高めるため

問4　日本の諸地域に見られる伝統的な住居の工夫について述べた次の文のうち、南西諸島の特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。（2020年 和歌山県公立入試 類似）

1. 敷地の周囲を石垣で囲い、屋根には赤瓦を用いてその隙間を漆喰で固めている。
2. 屋根の傾斜を急にし、厚い茅（かや）で葺くことで、雪が滑り落ちやすくしている。
3. 地面から床を高くした高床式の構造にすることで、地面からの湿気を通さないようにしている。
4. 住居の北側や西側に「防風林（屋敷林）」を植えることで、冬の厳しい寒風を防いでいる。

問5　九州地方の産業構造を分析した際、農業産出額における「畜産」の割合が特に高い県と、地域内で最大の「工業出荷額」を記録している県の名称として適切なものはどれですか。（2023年 三重県公立入試 類似）

1. 畜産の割合が高いのが福岡県、工業出荷額が最大なのが宮崎県
2. 畜産の割合が高いのが宮崎県、工業出荷額が最大なのが福岡県
3. 畜産の割合が高いのが佐賀県、工業出荷額が最大なのが福岡県
4. 畜産の割合が高いのが宮崎県、工業出荷額が最大なのが佐賀県

問6　人口増減率がプラス〇点四七パーセントを示している沖縄県の産業構造について、統計資料から読み取れる特徴を説明したものとして、最も適切な記述を選びなさい。（2024年 山形県公立入試 類似）

1. 製造品出荷額は全国的に見て低い水準にあるが、温暖な気候を活かした畜産業などが盛んである。
2. 広大な平原を利用した大規模な機械化農業が中心であり、製造品出荷額も全国トップクラスである。
3. 海面漁業の漁獲量が国内最大であり、それに関連する食料品製造業の出荷額が県内産業の半分以上を占める。
4. 人口増加に伴い、自動車産業などの重化学工業が急成長し、製造品出荷額が九州地方で最大となっている。

問7　地熱発電は、太陽光発電や風力発電といった他の再生可能エネルギーと比較して、エネルギー源としてどのような利点があると考えられますか。その理由を含めた説明として最も適切なものを選びなさい。（2026年 和歌山県公立入試 類似）

1. 燃料となる石炭や液化天然ガス（LNG）を安価に輸入できるため、発電コストを低く抑えられる点
2. ダムを建設して水を蓄えることで、電力需要の変化に応じて瞬時に発電量を調整できる点
3. 二酸化炭素を全く排出せず、放射性廃棄物の処理も必要ないため、環境への負荷が最も低い点
4. 天候や昼夜を問わず、火山活動による地下の熱源から常に安定して発電を続けることができる点

問8　鹿児島市の沿岸部において、1983年には海だった場所が2004年には「みなと大通り公園」や「水族館」が位置する陸地へと変化した。このような地形の変化をもたらした背景として正しいものはどれか。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. 大規模な地震によって地盤が急激に隆起し、海面下だった場所が陸地になった。
2. 都市機能の拡充を目的に、土砂などで海を埋め立てて新たな土地を造成した。
3. 地球温暖化の影響で海面が低下したことにより、浅瀬だった場所が自然に陸地化した。
4. 火山の噴火によって流出した溶岩が海岸線に到達し、冷えて固まることで土地が広がった。

問9　人口の増減を分析する際、特定の地域において出生数が死亡数を上回ることで生じる人口増加のことを何といいますか。（2018年 三重県公立入試 類似）

1. 人口密度の上昇　2. 自然的増加　3. 転入超過　4. 社会的増加

問10　鹿児島県の自然環境と産業の特色について説明した文として、適切なものはどれですか。（2024年 東京都公立入試 類似）

1. 県内の大部分が盆地で構成されており、火山灰の肥沃な土壌を活かして、ブランド米の生産が県内農業の収益の柱となっている。
2. 薩摩半島と大隅半島に挟まれた湾の中に桜島という活発な火山があり、周辺の台地では肉用牛や豚の飼育が盛んに行われている。
3. 温暖な気候を活かした促成栽培が中心であり、ピーマンやなすの生産量が日本一である一方、畜産業は小規模に留まっている。
4. 九州山地から流れる急流を活かした水力発電が盛んで、その安価な電力を利用して沿岸部ではアルミニウム工業が発達している。

問11　九州南部のシラス台地では、古くから稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、および豚や鶏などの畜産が盛んに行われてきました。このように土地が利用されてきた理由を、地形や土壌の観点から説明したものとして適切なものはどれですか。（2017年 沖縄県公立入試 類似）

1. 標高が高く一年を通じて気温が低いため、米の成長に必要な積算温度が不足しているから。
2. 台地が平坦ではなく急斜面が多いため、大規模な水田を整備する物理的な余地がないから。
3. 土壌に塩分が蓄積しやすい性質があり、塩害に弱い稲の栽培には適していないから。
4. 土壌が火山灰や軽石を多く含み水はけが良すぎるため、水田に必要な水を確保しにくいから。

問12　沖縄県の農業は、温暖な気候を活かした亜熱帯農業が特徴です。農業産出額の品目別割合を示した統計において、さとうきびなどの工芸作物を含む項目の割合が約40パーセントに達し、全国的に見ても独自の構成となっています。この項目に含まれる、沖縄県で生産が盛んな代表的な工芸作物はどれですか。（2017年 愛知県公立入試 類似）

1. 野菜　2. さとうきび　3. 稲（米）　4. 茶

問13　九州地方の自然環境とエネルギー利用について、火山の分布と関連の深い発電方式の特徴を説明したものとして、最も適切な記述を選択してください。（2016年 岡山県公立入試 類似）

1. 火山の斜面を流れる急峻な河川にダムを建設し、水の落下するエネルギーを利用して発電する方式
2. 火山の地下にあるマグマの熱によって生じた天然の蒸気を利用し、タービンを回して発電する方式
3. 石炭や天然ガスを燃焼させて得た熱で蒸気を作り、タービンを回して大量の電力を得る方式
4. 火山地帯の標高が高い地域に大型の風車を設置し、地形によって強まる風の力を利用して発電する方式